

ソフィーズ・ユニバース

{特別な編み方と基本技術}

デザイン：デドリ・アイス

©Dedri Uys 2014. All Rights Reserved.

Japanese translation by Masako Kawahara (VJ_1_20240118)



ソフィーズ・ユニバースCAL 2015で使われる特別な編み方を紹介します。ソフィーズ・ユニバースを編むときに参照してください。

説明する内容のすべてを、今すぐに読む必要はありません。公開されている It's All in a Nutshell の[ビデオチュートリアル](#)でも詳しく説明されます。

リソース~重要な情報

- ・ソフィーズ・ユニバースについて ([英語](#) [日本語](#))
- ・ラベリーのソフィーズ・ユニバース ([英語](#))



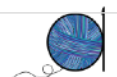
略語（アメリカ式）

（訳註）日本語の編み物の本では、たとえば「長編み」を略して「長」のように表記することはありませんが、英語圏では、たとえば「長編み（Double crochet）」をDcと略して表記します。日本語版では、編み図のなかで英語の略語を使用することがあります。

- ・ **Beg** - 編みはじめ
- ・ **BLO** - Back loop onlyの略。前段の目のバックループにのみ編む
- ・ **BP** - Back postの略。裏引き上げ編み（指定された目の裏側から表側にかぎ針を入れて、指定された編み目を編みます）。
- ・ **Ch** - 鎖編み
- ・ **Dc** - 長編み
- ・ **Dc2tog** - 長編み2目一度
- ・ **Dtr** - 三ツ巻長編み
- ・ **FP** - Front postの略。表引き上げ編み（指定された目の表側から裏側にかぎ針を入れて、指定された編み目を編みます）。
- ・ **Hdc** - 中長編み
- ・ **RS** - Right sideの略。表面を上にして編みます。
- ・ **Sc** - 細編み
- ・ **Sl st** - 引き抜き編み
- ・ **SM** - ステッチマーカー
- ・ **Sp/sps** - 鎖編みのできるスペース
- ・ **St/sts** - 目
- ・ **Tr** - 長々編み
- ・ **WS** - Wrong sideの略。裏側を上にして編みます。

繰り返し記号

- ・ ***** 繰り返しを表します。*と*の間に書かれた指示を、指定された回数分繰り返します。大きな範囲での繰り返しに使われます。
- ・ **括弧 ()** 繰り返しを表します。()内の指示を、指定された回数分繰り返します。小さな範囲での繰り返しに使われます。
- ・ **ただし～は編みません** 段によっては、繰り返しの最後では、コーナーを編まないという指示が出てきます。最初に編んでいる部分があり、最後の繰り返しでは編む必要がないときに使われます。



基本技術

引き上げ編み Post Stitches

表引き上げ編み Front Post Stitches

1. 指定された目の足のまわりに、かぎ針を表から入れ、足の裏から表に出します。かぎ針の上に足の部分が乗っている状態になります。
2. 通常の手順で目を編みます。



裏引き上げ編み Back Post Stitches

裏引き上げ編みは、表引き上げ編みより少し編みにくいですが、コツがわかれば問題なく編めます。きっと編み目が気に入ると思います。

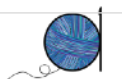
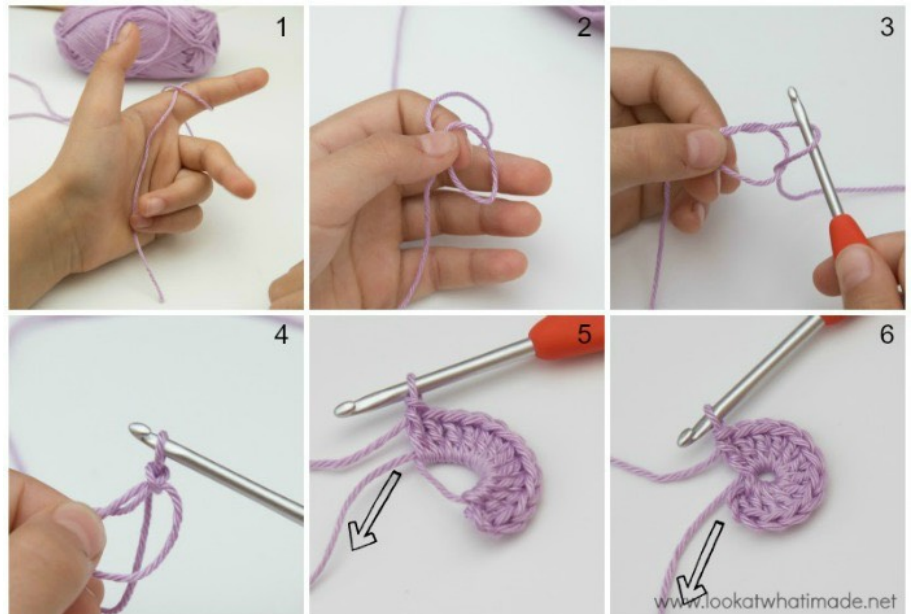
1. 指定された目の足のまわりに、かぎ針を裏側から入れて、裏側に出します。かぎ針の後ろ側に足の部分が乗っている状態になります。
 2. 通常の手順で目を編みます。
- 編地を手前側に倒すと、足を拾いやすくなります。



マジック・リング Magic Ring

マジック・リング（輪に編み入れる手法）は、中心に穴があかないので、とても便利です。この手法を使うときは、編みはじめに、糸端を十分長くとおきましょう。これを怠ると、せっかく編んだものが台無しになってしまうことがあります（「糸端のしまつをする」を参照）。

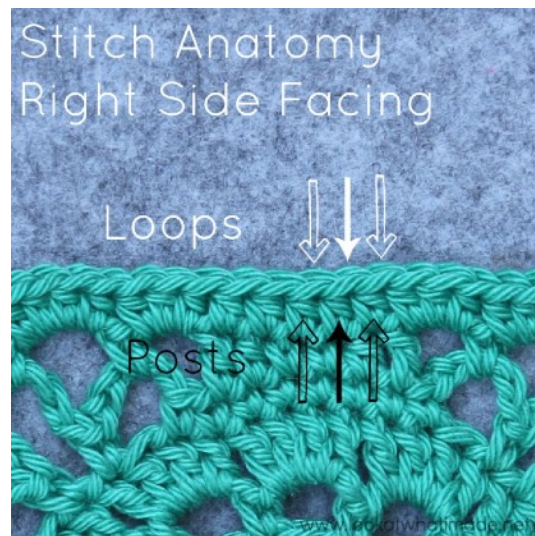
1. 写真のように、糸を左手（左利きときは右手）の掌の上に渡し、薬指と小指で押さえます。人差し指の周りに時計回りに糸を巻きます。糸が交差してループができます。
2. ループを指からはずし、糸が交差している部分をつまみます。
3. ループの中にかぎ針を通し、糸をかけてループから引き抜きます。
4. かぎ針に糸をかけ、鎖編みを編みます。この鎖編みで糸がゆるまなくなります。
5. パターンにしたがって、わに残りの目を編みます。写真矢印の糸も一緒に編みます。
6. すべての目を編み入れたら、糸端を引いて、穴を小さくします。糸端のしまつはしっかりとしましょう。



編み目の構造について Stitch Anatomy

編み目は、足（前段の目につながっている部分、英語では POST）と頭（編み目の上部に連なるV型の2本のループ部分、英語では LOOP）で構成されています。編みは始める前に、ループ（頭）や足がどの目のものであるかを理解しておくことが大切です。

表面をみながら編むときは、頭（Loops）は足（Posts）の右側にあります（左利きの場合は左側）。



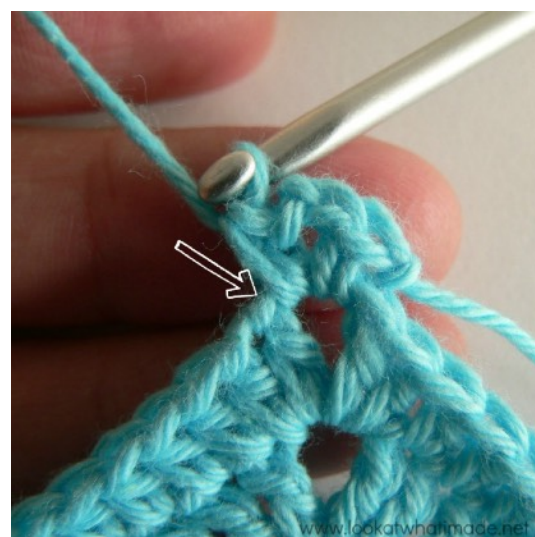
コーナーと隠れた（見えにくい）目

Corners and the Elusive Hidden Stitch

コーナー部分には、次の段で、複数の目が編み入れられることとなります。このとき、コーナーの鎖編みの直後の目のループ（頭）が見えにくくなります。

この最初の目を見逃してしまうと、その段の目数が合わなくなります。鎖編みの直後の目がよく見える場合もありますが、その場合でも、パターンには「見えにくい、隠れた目」と表現して、注意喚起をしています

直前に編んだ目を指でずらさないと、隠れた目に編めないこともあります。写真が示す鎖編みの直後の中長編みが、もっとも編みにくいケースです。なお、往復編みのときは、裏側を見ながら編むので、鎖編みの直後の目が隠されてしまうことはありません。



コーナーと目の数え方

パート5からパート10では、8つの辺（サイド）があります。サイドごとの目を数えるときはコーナーの鎖1目スペースから次のコーナーの鎖1目スペースの間にある目を数えます。コーナー（角）は鎖1目の両サイドにある目によって作られています。鎖1目の両側の目は、それぞれ別のサイドに属しています。ちょうどスクエアモチーフのコーナーの鎖編みの両側の目が、コーナーを作るそれぞれの辺（サイド）に属していることと同じです。例外もありますが、その場合は、その都度、丁寧に説明します。

コーナーが見つげにくいときは、マーカーをつけておきましょう。

写真の3つの矢印は、かぎ針に近いほうから（左から）、次のサイドの目、鎖1目、手前のサイドの目を指しています。



マーカーを使うこと Using Stitch Markers

パターンでは、ときどき、ステッチマーカーを使うように指示しています。目数を数えるための目印として使う場合と（目数を数えたらマーカーをはずします）、あとの段で使う目を示す場合です（外していいと指示があるまで、マーカーを付けたままにします）。マーカーをつけるときは、指定された目の両方のループ（または、指定された鎖編みスペース）につけてください。どのループにつけるかよくわからないときは、前述の「編み目の構造について」を参考にしてください。

ステッチマーカーを持っていない（あるいは、持っているが足りなくなった）場合は、写真のように、糸の切れ端で代用できます。

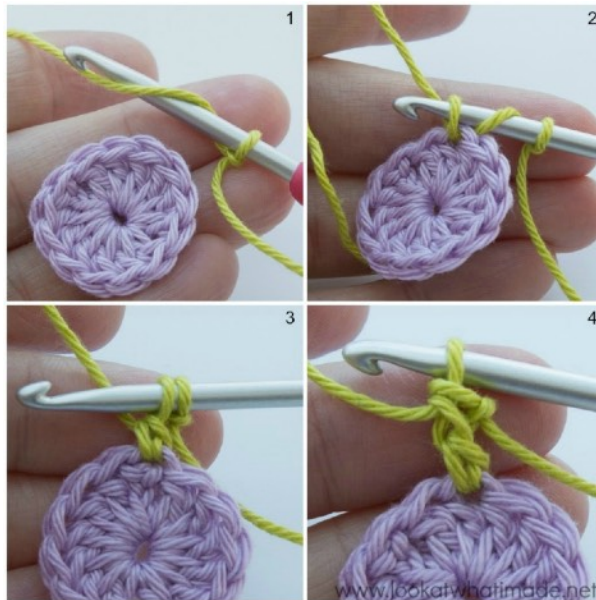


スタンディング編み Standing Stitches

スタンディング編みは、次の段を新しい色で編むときに使われます（前段の終わりの位置と異なる位置から編みはじめるときにも使われます）。スタンディング編みは、直前の目につながっていないこと以外は、通常の編み方とまったく同じです。かぎ針に目をつくり、人差し指で目を押えながら、通常の手順で編みます。

スタンディング長編みの手順を示します。

1. かぎ針に作り目をして、糸を1回かけます。
2. かぎ針を指定された目／スペースに入れます。右手の人差し指で（左利きの場合は左手の人差し指）作り目部分を押さえて回転しないようにしながら、かぎ針に糸をかけ、ループを引き出します【かぎ針に3本のループ】。
3. かぎ針に糸をかけて、2本のループを引き抜きます【かぎ針に2本のループ】。
4. かぎ針に糸をかけて、残っている2本のループを引き抜きます。



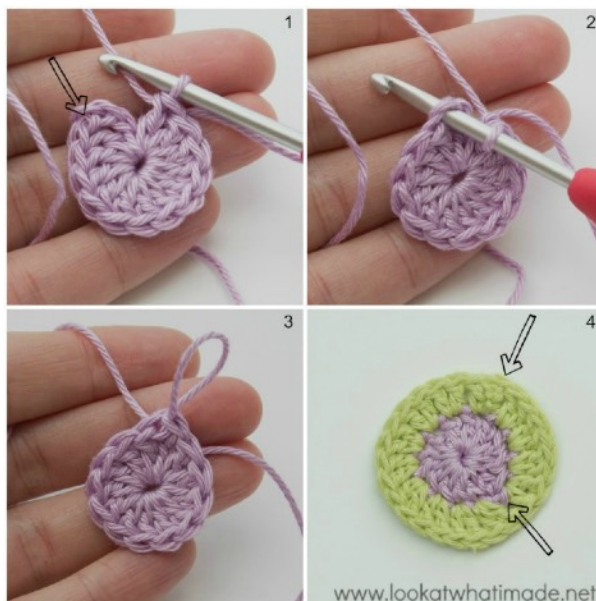
目立たないつなぎ方 Invisible Join

段の終わりは、引き抜き編みで編みはじめの目につながっています。引き抜き編みの代わりに、とじ針をつかって、目立たないつなぎ方（invisible join）を利用することもできます。ただし、目立たないつなぎ方を使う場合は、どの目につなぐか、どの目が編みはじめになるのかをきちんと理解しておいてください。ここを間違えてしまうと、きれいに仕上がらないこともあります。



引き抜き編みでつなぐ Slip Stitch Join

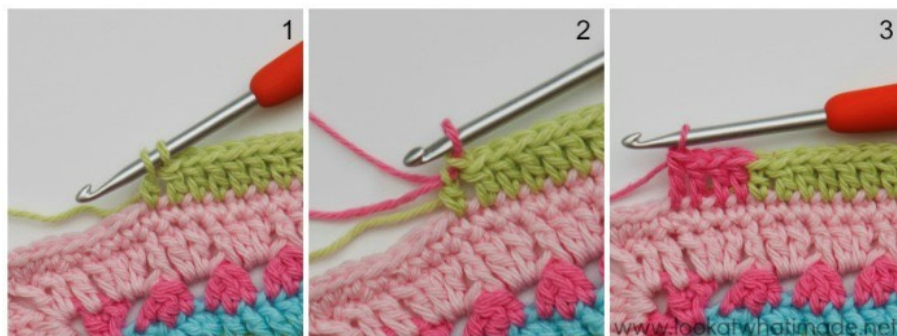
1. 段の終わりに引き抜き編みでつなぐ目を確認してください。
2. その目またはスペースにかぎ針を入れ、
3. 引き抜き編みをします。立ち上がりの鎖編みにつなぐときは、間違えて鎖編みの次の目に引き抜かないように注意してください。



色を替える Changing Colours

段の途中で色を替えるときに使う手法を紹介します。一部分だけ別の色で編みたいときの、糸を替えるタイミングを説明します。

1. 色を替える目の直前の目の最後の部分から色を替えます（かぎ針に、直前の目のループが2本かかっている状態で色を替える準備をはじめます）。
2. 新しい色の糸をかけて、前の色の2本のループを引き抜き、最後の目を完成させます。その後は通常通りに編みます。



糸を引きしめる Fastening Off

引き抜き編みでつないだときは、糸を10cmほど残して切ります。編み目から糸を引き抜いてください。糸端をしまつします（「糸端のしまつをする」を参照）。

糸端のしまつをする Working Away Yarn Ends

編んだあとに、残っている糸端をすべて処理しないと作品は完成しません。レシピによっては、最後に糸端のしまつをするように書いてあるものもありますが、編みながら、その都度、糸端のしまつをしていくことをお勧めします。とじ針とハサミを用意してください。



とじ針に糸端を通します。編地の裏側の少なくとも2.5cm以上の目に、針を通します。編みはじめの輪（マジック・リング）の糸端をしまつするときは、輪に編み込んだ目の半分以上に糸を通してください【写真1】。

糸を引いてから、今度は反対向きに、最初の目を飛ばして、とじ針をもとの位置まで同じ目に通します。最初の目を飛ばすことを忘れないでください。こうすることで、糸がしっかり掛かります【写真2】。糸を引きます。確実に糸がゆるまないようにしたいときは、この手順をもう一度繰り返してください【写真3】。

編地の近くで糸を切ります。間違えて、編地を切らないように注意してください。この処理がきれいにできると、表面から糸端がみえることはありません。



ブロッキング（ピン打ち） Blocking

ソフィーズ・ユニバースのパート7以降は、各パート終了時にブロッキングすることをお勧めします。

ブロッキングにはジョイントマット（フォームマット）が便利です。ブロッキング・ピン（フォークピン）も用意してください。

編み上がったブランケットを水に浸します。軽く絞って、2枚の大判タオルの間に広げます。タオルに挟んだまま、ロール状に巻き、余分な水分を吸い取ります。タオルを広げて、ブランケットをジョイントマットの上に広げ、形を整えます。ピンを打つときは、引っ張りすぎないように、数センチごとに細かく打ちしましょう。完全に乾いたら、ピンをはずします。

特別な編み方

ピコット

鎖3目を編み、かぎ針から3番目の目に引き抜きます。

Vステッチ

ソフィーズ・ユニバースでは2種類のVステッチが使われています。

同じ目/スペースに（長編み1目、鎖2目、長編み1目）を編むものと、（長編み1目、鎖1目、長編み1目）を編むものがあります。各段の指示にしたがってください。

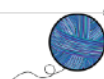
バック細編み

細編みと似ていますが、細編みとは逆方向に編んでいく編み方です。

長編み5目のパプコーン編み

同じ目に長編み5目を編み入れます。かぎ針を最後の長編みからはずし、長編み5目の最初の長編みの頭に入れ、はずしておいたループをかぎ針にかけて、ループを最初の長編みから引き抜きます。最後に鎖1目を編みます。

編みはじめのパプコーン編み: 鎖3目を編み（長編み1目としてカウント）、同じ目に長編み4目を編み入れます。かぎ針を最後の長編みからはずし、鎖3目の3番目の目に入れ、はずしておいたループをかぎ針にかけて、ループを最初の長編みから引き抜きます。最後に鎖1目を編みます。



長編み3目一度

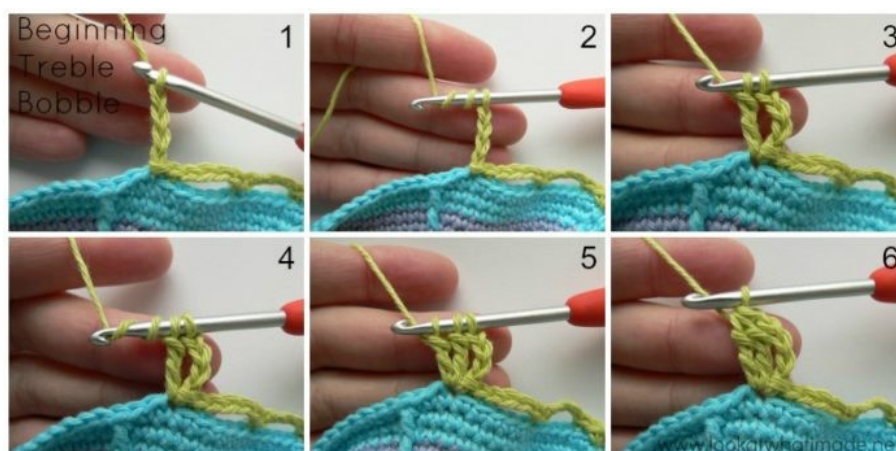
未完成の長編みを3目編み（かぎ針には4本のループがかかっています）、かぎ針に糸をかけてループを一度に引き抜きます。

長々編み3目一度

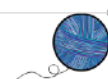
未完成の長編みを3目編み（かぎ針には4本のループがかかっています）、かぎ針に糸をかけてループを一度に引き抜きます。

長々編み3目の玉編み

編みはじめの長々編み3目の玉編み: 鎖4目 {写真 1}。かぎ針に糸を2回かけて {写真 2}、鎖4目の根本の目に入れ、糸をかけて、ループを1本引き抜きます。（糸をかけて、2本のループを引き抜く）×2回。かぎ針には2本のループが残っています {写真 3}。糸を2回かけて {写真 4}、同じ目にかぎ針を入れ、糸をかけて1本のループを引き抜きます。かぎ針には5本のループが残っています。（糸をかけて、2本のループを引き抜く）×2回。かぎ針には3本のループが残っています {写真 5}。糸をかけて、3本のループをすべて引き抜きます {写真 6}。



長々編み3目の玉編み: かぎ針に糸を2回かけて、指定された目にかぎ針を入れ {写真 1}、糸をかけて、ループを1本引き抜きます。（糸をかけて、2本のループを引き抜く）×2回。かぎ針には2本のループが残っています {写真 2}。糸を2回かけて、同じ目にかぎ針を入れ、糸をかけて1本のループを引き抜きます。かぎ針には5本のループが残っています。（糸をかけて、2本のループを引き抜く）×2回。かぎ針には3本のループが残っています {写真 3}。糸を2回かけて、同じ目にかぎ針を入れ、糸をかけて1本のループを引き抜きます。かぎ針には6本のループが残っています。（糸をかけて、2本のループを引き抜く）×2回。かぎ針には4本のループが残っています {写真 4}。糸をかけて、4本のループをすべて引き抜きます {写真 5}。



長々編み2目の玉編み

かぎ針に糸を2回かけて {写真 1}、かぎ針を指定された目に入れます。糸をかけて、ループを1本引き抜きます。（糸をかけて、2本のループを引き抜く）×2回。かぎ針には2本のループが残っています {写真 2}。糸を2回かけて、同じ目にかぎ針を入れます。糸をかけて1本のループを引き抜きます。（糸をかけて、2本のループを引き抜く）×2回。かぎ針には3本のループが残っています {写真 3}。糸をかけて、3本のループをすべて引き抜きます {写真 4}。



パフ編み

かぎ針に糸をかけて、指定された目/スペースに入れ、糸をかけて、ループを引きあげます。（かぎ針に糸をかけて、同じ目/スペースに入れ、糸をかけて、ループを引きあげる）×3回。かぎ針に糸をかけ、9本のループをすべて引き抜きます（写真2）。最後に鎖1目を編みます（写真3）。写真 4はパフ編み2つを編んだところです。



長い細編み

指定された目にかぎ針を入れ {写真 1と2}、編んでいる段まで糸を引き上げます {写真 3}。かぎ針に糸をかけて2本のループを引き抜きます {写真 4}。「スパイク編み」と表記されることもある編み方です。



長編み交差編み

次の目を飛ばし、その次の目に長編み1目を編みます {写真 1}。直前に編んだ長編みを覆うように、飛ばした目に長編みを編みます {写真 1の矢印、写真 2}。長編み1目3目の交差編みと似た編み方です。

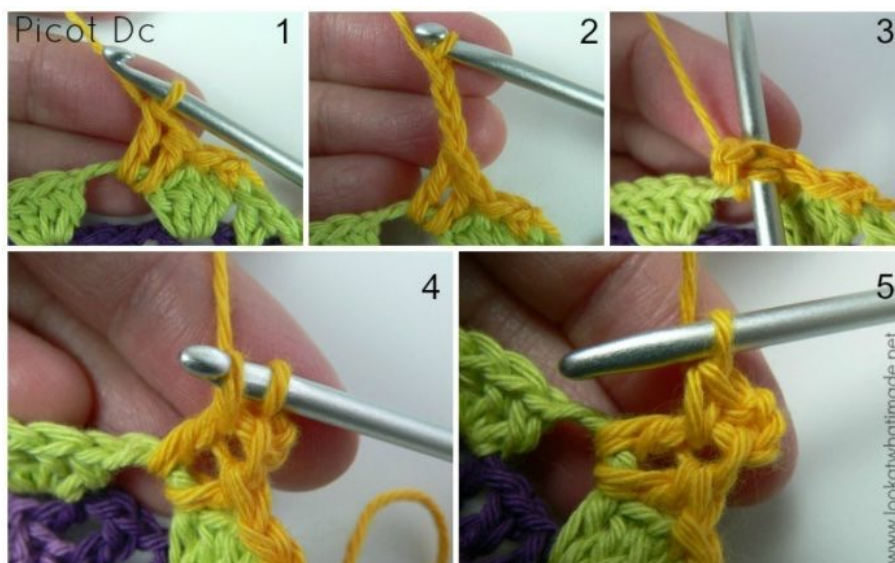


長編み1目3目の交差編み

次の目を飛ばし、その次の3目に長編みを1目ずつ。かぎ針に糸をかけて、長編み3目の上から、最初に飛ばした目に入れ、糸をかけて長編みの高さまで引き上げます。このとき、引き上げた糸は長編み3目の表側と裏側の両方に渡っています。（糸をかけて2本のループを引き抜く）×2回。

ピコット付き長編み

長編み1目を編み (写真1)、鎖3目 (写真2)。長編みの頭に細編みを編んでピコットをつくります。このとき、最初に編んだ長編みの頭の両方のループに、横からかぎ針を入れて細編みを完成させます (写真3-5)。



ペルシャステッチ

細編み2目一度の繰り返しです。直前に細編み2目一度を編んだ目と次の目に新しい細編み2目一度を編みます。104段目の説明を参照してください。

